

Honeys

中期経営計画（2017年5月期～2019年5月期）

－中期経営計画の見直しについて－

Honeys Holdings

2018年7月10日

株式会社ハニーズホールディングス

代表取締役社長 江尻 義久

中期経営計画見直しの概要

中期経営計画見直しの背景

国内においては、少子高齢化の進展に伴う人口構成の変化、Eコマースと物流の進化に伴うネット通販市場の拡大、衣料品に対する消費支出の減少など、婦人服アパレル市場が変容しています。

中国においては、消費者の百貨店離れが顕著となる中、Tモールに代表されるEコマースの急速な拡大が続いており、旧来のビジネスモデルでは通用しない世界となっています。

中期経営計画見直しについて

現中計期間の2年目を終えたところですが、内容を一部見直しました。特に、中国におきましては、先日開示いたしましたニュースリリースの通り、一部機能を残してすべての小売店舗を廃止いたします。

中計最終年の重点課題として、「Eコマースの強化、店舗運営業務の効率化、新業態の開発」を掲げ、役職員一丸となって取組んでまいります。

中期経営計画見直しのポイント

経営資源を国内事業に集中し、新しい成長分野を開拓していきます。

1. Eコマース戦略

- ① 自社ECサイトやアプリのユーザビリティを改善、新規ユーザーの獲得及び既存会員の深耕を図る
- ② 3年後のEC化率7%を目指し、物流センターの出荷機能を強化

2. 店舗戦略

- ① 国内店舗網は営業CFを生み出す貴重な資産と位置づけ、1店1店丁寧な運営管理を行う
- ② シフト体制や人事ローテーションを見直し、無駄のない効率的な運営体制を構築する

3. 新業態の開発

- ① グラシアをベースブランドとして、大都市圏を中心に、売れ筋商品だけを取り扱う新業態「クロスオーバー」を展開
- ② 今秋にプロタイプ1号店を出店予定

4. ミャンマー自社工場の成長戦略

- ① 従業員教育と現場に即したQCにより、安定した生産性を実現
- ② 素材や縫製にこだわった商品の提供

経営数値目標 (2019年5月期見直し)

< 3 カ年計画数値目標 (連結) >

	2019年5月期(見直し)
売上高	482億円
営業利益	34億円
営業利益率	7.1%
R O E	6.8%

※2018/7/10見直し

業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている将来に対する見通しは、過去の事実でないために不確定になるリスク要因を含んでおります。

従って、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性がありますというをご了承ください。